

日本の伝統文化の素晴らしさに感動 国際会議同伴の外国人たちに国際・文化部員が手解き 理事 - 東本 敦子



にわか造りの茶室でお点前を披露する茶道部々員

神戸国際観光コンベンション協会から「国際会議に同伴されるご家族の人たちを日本の伝統文化で歓迎したいので協力願いたい」と、グループに要請がありました。この国際会議は、昨年11月11日～15日、神戸国際会議場で開かれた第3回国際成長ホルモン・成長因子学術会議です。世界各国からの出席者に同伴された家族をおもてなししようというものです。

同コンベンション協会から日本伝統文化のうち外国人に喜ばれるものとして茶道、いけ花、折り紙をお願いしたいとの申し入れでした。

初日の12日は茶道で、会議室に立札棚、傘で飾りつけて、にわか造りのお茶室に変身させました。通訳を通して、外国の人たちにお点前を体験して頂きました。

二日目は折り紙で、会議室の中央には折り紙で作ったお雛様を、テーブルには鶴や風船、紅葉などがいっぱい飾られていました。折り方を印刷した紙を配って、ツルや風船を折って頂きましたが、見事な出来栄に感心していました。

三日目はいけ花で、バケツに入った色々な切花を、ご婦人たちに選んで頂き、先生たちの指導で幾つものいけ花を生けられていました。

国際部会の通訳の方も先生方の思いをしっかりと伝えて頂き、ご婦人たちからも喜ばれていました。文化部会の先生方の着物姿も素晴らしく、日本のよき伝統をご披露できたと思います。皆さまお疲れ様でした。

三日間の日程を無事に終了、コンベンション協会から「参加者には大変喜んで頂きました。今後、国際会議の際には是非、グループわにお願いしたい」とお褒めの言葉を頂きました。

お点前体験に喜ぶ外国人

福7 - 文 小原 早春

午前7時からにわか造りのお茶室とお水屋を配置して、お茶会を始めました。通訳の方の力添えで、お点前と半東の話を熱心に聞いてくださり、ドアの開いたまま廊下のざわめきが聞こえる中とはいえ、それなりのお茶室の雰囲気をつかんで頂いたと自負しています。外部を遮断したお茶室ならもっとよかったのでは。とにかく余った時間をお点前の体験にまわして喜んで頂きました。着物姿で彩りを添えて、心からのおもてなしを致しました。日本文化の一端を覗いて頂けたのではないのでしょうか。

折り紙のツルに満足顔

美1 - 文 伊藤 公子

初めての体験でしたが、通訳の方が付いて下さるとの事でお引き受けしました。当日は京都見物にお出かけの方が多かったとかで、参加された方が少なく万端の準備も拍子抜けでした。

でも参加下さった方には、マンツーマンのご指導が出来て満足頂けたようでした。10歳位のお子さんがツルを折りたいと、きっちりと折り上げて満足そうでした。また折り染め紙で折った風船を大事そうにお持ち帰りになりました。通訳の方の見事な会話に支えられ和やかな講習会でした。

生け花文化の紹介を終えて

国11 - 文 福井 恵子

少々荷が重いかないと思ながらも沢山の善意に支えて頂き、私の心に残るひと時を与えられて感謝しており

ます。何が喜ばれるのだろうか、花は何を使うか等かなり迷いました。

やはり五百年もの永い間続いている「和」の精神を見て頂く事にして作品を作りました。デモンストレーションでは自然環境や植物に、人間の生き様を写し現在、過去、未来などの空間ドラマを花で伝えたことが、良かったか悪かったか。体験では日本的感覚の花を選んで楽しめました。通訳の皆さん有難うございました。自分で伝えることができたらいいいな。

日本文化講座を通訳して

国7 - 国 相馬 博

この講座の通訳を三日間通訳して担当した。茶道紹介には二年前に通訳をしたことがあるので、特殊な用語を復習して臨んだ。会議室に設けられた椅子に座って行う立礼(りゅうれい)であつたが、参加者も多く茶室とは異なる賑やかなものになった。折り紙の紹介では“折る”という単語と作品の鶴、雛人形、兜などの単語以外は通常の言葉での説明が主になった。皆さん非常に熱心で、先生の指導の下、器用に作ることが出来大変喜んでもらえた。



思い思いに花を生けるご婦人たち

生け花の紹介も初めての経験であつた。花を生けることはどこの国でもおこなわれているが、日本の生け花への関心は高く大勢参加して下さった。夫々用意された花を取って先ず自分で生け、それに先生が手を加えることによって見違えるように綺麗になったので、驚きと感動に目を輝かせていた。特に真・副・体(shin・soe・tai)の基本を学び、国に帰ってやってみようとの声が聞かれた。

以上三つの紹介に用語、挿絵の入った分かり易い英文のパンフレットが用意されていたので説明し易く、和やかな雰囲気の中で皆さん満足をして帰られたことは幸いであつた。